

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 被服学概論

（2024年 6月 30日作成）

氏名 宮本 教雄

No.1

内容 （〇〇する 力がある） 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	（再認、再生）	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
序. 衣環境から考える被服 1. ファッションと生活	快適衣環境の 追究が地球環境 に与える影響を 知る。	化学工業の発展が ファッション素材に 大きな影響を与えた ことを説明できる。		終戦後和装か ら洋装へ大きく 変化した理由を 調査しなさい。	過去に大流行した ファッション事例を あげ、その時の社会 背景と流行状況を考 察する。	
2. 被服の機能と材料に求め られる性能	人体が持って いる感覚受容器 を再確認する。	衣服の着装行動に 影響を及ぼす4要因 を説明できる。	より快適に過ご すことができる衣 服を考える。	快適性に及ぼ す被服材料の物 理的化学的性能 を説明できる。	日本の夏服と冬服 の事例をあげて、そ れぞれ快適性を評価 しなさい。	今後被服材料に 求められる性能に ついて考える。
3. 被服用天然繊維の種類と 分類、性能	繊維は高分子 物質であることを 理解する。	天然繊維の分類方 法と種類について説 明できる。		植物繊維や動 物繊維の主成分 を説明できる。	生分解性の天然織 維が地球環境に及ぼ す影響を考える。	
4. 被服用化学繊維の種類と 分類、性能	化学繊維は人 造高分子である ことを理解す る。	化学繊維の分類方 法と種類について説 明できる。		化学繊維にお ける再生、半合 成、合成の各織 維の違いについ て説明できる。	化学繊維には生分 解性のあるものとな いものがあることを 理解する。	合成高分子の種 類の豊富さが理解 できる。

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

5. 被服用糸の種類と性能	糸にはフィラメントと紡績糸があることを理解する。	被服材料は糸できていることを理解し、形態的に分類することができる。		糸を分解し、使用目的に応じた構成を理解する。	実際の糸 1m の重さを測定し、表示通りになっているか計算し評価する。	
6. 被服用織物の製造、構造、性能、分類	織物の構成因子を理解し、布の風合いと関連させる。	織物の三原組織をはじめ様々な組織を理解し、組織の違いを説明できる。		実際の織物を分解し、経糸と緯糸の構成を把握する。	布の名称から材料と組織と風合いがわかる。	
7. 被服用編物の構造、分類、組織、製造	編物の構成因子を理解し、編地の風合いを関連させる。	緯編みと経編みにおける組織編成の違いを説明できる。		実際の編地を分解し、表目と裏目の構成を把握する。	布の名称で材料と組織と風合いがわかる。	
8. 繊維製品の染色	各種染料と繊維材料の間の染色理論が説明できる。	主な天然染料と合成染料の種類と相性の良い繊維との関係を説明できる。	工業的染色工場現場を調査し、産業としての染色を理解する。	染料の化学的性質と繊維の化学的性質を把握する。	日常衣服の変色と色褪せの具体的事例をあげ、染色堅牢性を究明する。	
9. 被服の製造と品質管理		繊維材料から被服ができるまでの全行程を順を追って説明できる。		織物生地からアパレル製品までの品質管理を理解する。	手工業的被服生産から、産業的大量生産へのプロセスを理解する。	
10. 人体の発熱と放熱 被服による皮膚温・体温維持作用		人間の体温維持作用と自律神経の関係を説明できる。	快適環境条件と被服の保温性の関係を考える。		被服材料の衛生学的性能と着心地との関係を理解する。	理想的着心地の被服の形態を考える。

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

11. 被服による皮膚障害、衣料公害		被服が人間に与える悪影響について、分類して説明できる。		皮膚の汚染原因を分類し、対処法を考える。	被服による皮膚障害について、物理的刺激と化学的刺激に分けて説明できる。	
12. 洗浄理論、仕上げ加工、保管		日常生活における汚れの種類と効果的対処法を説明できる。	界面活性剤による洗浄理論を説明できる。		洗浄効果に関わる条件を挙げて、理想的洗浄方法を考える。	繊維製品の素材に適した保管方法を考察する。
13. 繊維特性による品質苦情		各種繊維の特性と関連させてアパレル製品の苦情発生原因を説明できる。	品質苦情が発生しないようにアパレル製品の企画をする。	苦情発生事例をあげて、素材ごとの原因を追究する。		
14. 被服の廃棄問題	被服の大量生産、大量消費、大量廃棄の問題点を把握する。	被服の廃棄量を減らすための、企業努力と消費者行動を説明できる。		消費者がどのように被服を廃棄しているか説明できる。		被服の製造工程中に発生する素材廃棄の現状を説明できる。
15. 繊維製品の品質表示、原産国表示、各種表示		家庭用品品質表示法に定められている、繊維製品の表示について説明できる、	繊維製品の品質表示と原産国表示の区別を説明できる。	繊維製品の様々な品質保証マークを理解する。	家庭洗濯等取扱い表示について、その詳細を説明できる。	